

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート
～検証状況の確認～

提出日:2017年2月23日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-1	聖和短期大学の理念		変更の有無
	<p>【建学の精神・教育理念】 関西学院の建学の精神であるキリスト教主義に基づき、聖和短期大学は神がわたしたち一人ひとりを愛してくださっていることを知り、イエス・キリストが示された生き方にならって、他者一特に幼い者や社会的に弱くされた者たちに仕える働き人を養成するために建てられています。そして、この建学の精神は、All for Christ「キリストに心を向けて」や、Seiwa College for Christian Workers「キリストの働き人を育てる聖和」という言葉で表してきました。</p> <p>また、ここに集う一人ひとりの全人的で調和のとれた成熟のために、3つのH-Head:真理の探求、Heart:自分を愛し人を愛する心、Hand:奉仕と実践—を大切にすることを教育理念としています。</p> <p>【めざす人間像】 “Mastery for Service”を体現する世界市民 豊かな専門的知識と理解力、確かな実践力を備え、他者、特に幼い者や社会的弱者へ深い愛と共感をもって、隣人・社会・世界に奉仕する人</p> <p>【めざす短期大学像】 「垣根なき学びと探究の共同体」の実現 聖和短期大学は、キリスト教主義に基づく「垣根なき学びと探究の共同体」の実現をめざし、全人的な教育と創造的な研究により、有能にして心温かい世界市民を社会に送り出すことを使命とします。</p>		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。
A-2	聖和短期大学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)	聖和短期大学の目的(Webサイト上)	変更の有無
	<p>【聖和短期大学学則 第1条 (目的)】 本短期大学は、学校教育法及び教育基本法の規定するところに従い、実際の専門知識と豊かな教養を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、キリスト教主義に基づいて人格を陶冶することを目的とする。</p>	<p>建学の精神・教育理念 関西学院の建学の精神であるキリスト教主義に基づき、聖和短期大学は神がわたしたち一人ひとりを愛してくださっていることを知り、イエス・キリストが示された生き方にならって、他者一特に幼い者や社会的に弱くされた者たちに仕える働き人を養成するために建てられています。そして、この建学の精神を、All for Christ「キリストに心を向けて」や、Seiwa College for Christian Workers「キリストの働き人を育てる聖和」という言葉で表してきました。</p> <p>また、ここに集う一人ひとりの全人的で調和のとれた成熟のために、3つのH-Head:真理の探求、Heart:自分を愛し人を愛する心、Hand:奉仕と実践—を大切にすることを教育理念としています。</p> <p>教育目標 「キリスト教主義に基づく豊かな人間性、保育に関する専門的知識と実践力を兼ね備え、子どもの最善の利益に貢献できる保育者の育成」 聖和短期大学 公式ホームページ</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。
	めざす学生像		変更の有無
	<p>“Mastery for Service”を体現する世界市民をめざし、キリスト教主義教育をとおして、世界への視野、幅広い知識、保育に関する深い専門性と実践力、豊かな人間性と自らを律する強さと主体性を身につけ、多様性への理解を深め、子どもの最善の利益に貢献するために、他者、特に幼い者や社会的弱者への深い愛と共感をもって、隣人・社会・世界に奉仕する学生。</p>		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。
	学位授与方針(ディプロマ・ポリシー;DP)		変更の有無
	<p>聖和短期大学は、キリスト教主義に基づき「他者一特に幼い者や社会的に弱くされた者たちに仕える」働き人を養成する学校としての長い歴史と伝統を受け継ぎ、次のような力を備え、隣人・社会・世界に奉仕する人を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育に関する豊かな専門的知識と理解力を備えている。 2. 学んだ知識や技術を活用できる確かな実践力を身につけている。 3. 他者、特に幼い者や社会的弱者を愛し、共感する力を備えている。 		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し ※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。

2016年度 自己点検・評価【聖和短期大学】

A票

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート
～検証状況の確認～

提出日:2017年2月23日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-1.「理念」、A-2.「目的」「めざす学生像」「学位授与方針」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	「聖和短期大学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」は、「A-1. 聖和短期大学の理念」に沿い、めざす方向性を適切に表現しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	「聖和短期大学の目的(Webサイト上)」は、A-2「聖和短期大学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」に沿った内容であり、社会に対して分かりやすい表現になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	「めざす学生像」と「学位授与方針」は、A-2「聖和短期大学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」、「聖和短期大学の目的(Webサイト上)」と整合性が取れ、目的の実現に向けて相応しい内容となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学位授与方針は、学位授与にあたり、学位授与基準および当該学位に相応しい学習成果を明確に示しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認5】	学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか。	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
【確認6】	目的、「めざす学生像」、「学位授与方針」は周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	教授会(議長:学長)
	検証手続き	学長室会の協議を経て、教授会で決裁・承認している。
	決定・判断時期	毎年4月
	検証エビデンス	学長室会および教授会議事録
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2016年4月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)	
検証プロセス	検証方法	成果指標(進路決定状況など)を定めて現状を把握の上、学長室会において課題を整理している。
	検証結果	<input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。
		<input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。
		<input type="checkbox"/> 既に見直した(→A票の内容を書き換えた。) <input type="checkbox"/> 今後見直す予定である。(見直し計画:) <input type="checkbox"/> その他()
判断根拠	毎年実施する自己点検・評価報告書	
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(要覧)	

2016年度 自己点検・評価【聖和短期大学】

A票

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート
～検証状況の確認～

提出日:2017年2月23日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-3

教育研究目標		変更の有無
目標1	(タイトル) 保育に関する専門的な知識や技術を教授し、保育者として高い資質・能力を育む。	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し <small>※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。</small>
	(狙い・内容) 子ども・子育て支援新制度への対応と学習効果のさらなる向上をめざして、新たなカリキュラムを編成する。また新カリキュラムにおける授業を有効に実施するため、教員の教授内容への周知・徹底を図る。	
目標2	(タイトル) 保育に関する研究成果を発信するとともに社会に還元し、保育界、地域社会との連携を強化する。	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し <small>※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。</small>
	(狙い・内容) 保育に関する研究成果を広く社会に発信、還元し、社会のニーズに応えることをねらいとして、研究活動の充実を図る。また保育界、地域社会との連携強化をねらいとし、実習協議会、リカレント教育、職業実践力育成プログラム(BP)、就職協議会等の実施、キリスト教教育・保育研究センター(RCCEC)による公開講座、関西学院子どもセンターにおける活動、学生ボランティア活動、教職員による社会的活動等の充実に努める。	
目標3	(タイトル) 一人一人の学生の夢の実現に向けて、学生支援を強化する。	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し <small>※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。</small>
	(狙い・内容) 学生に対して適切な指導助言を行う体制として、アドバイザー制(クラス担任制)を充実し、各アドバイザー担当教員は、学生生活全般にわたり、きめ細かく修学・生活・進路の支援を行う。 学生の各々の状況に応じ、勉学を安心して続けられるよう、学生の生活を支援するため、各種奨学金の制度を適切に運用する。 進路支援の強化のため教員と聖和キャンパスキャリアセンターとの連携でおこなう就職支援委員会の活動を行い、現在の100%に近い就職率を維持できるように進路支援を行う。	

A-3. 「教育研究目標」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	「教育研究目標」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	「教育研究目標」は、教育の質向上に向けた意欲的な内容になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	「教育研究目標」は、周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	教授会(議長:学長)
	検証手続き	学長室会の協議を経て、教授会で決裁・承認している。
	決定・判断時期	毎年4月
	検証エビデンス	学長室会および教授会議事録
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2016年4月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)
検証プロセス	検証方法	成果指標(各目標の達成度評価など)を定めて現状を把握し、学長室会で課題を整理している。
	検証結果	<input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。
	判断根拠	毎年実施する自己点検・評価報告書 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="text-align: right;"> <input type="checkbox"/>既に見直した(→A票の内容を書き換えた。) <input type="checkbox"/>今後見直す予定である。(見直し計画:) <input type="checkbox"/>その他() </div> <div style="font-size: 2em;"> </div> </div>
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(要覧)	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート
 ～検証状況の確認～

提出日:2017年2月23日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-4	教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー;CP)	変更の有無
	【カリキュラムポリシー(教育課程・実施の方針)】 1. 保育実践の基礎となる人間観、子ども観、教育・保育観を学ぶとともに、子どもの成長を援助するために必要な知識、方法、技術の総合的な理解、習得をめざす。 2. 実習を重視し、事前事後指導を充実して実践力の向上をはかる。 3. キリスト教主義教育をとおして人格の完成をめざし、修得した知識や実践力を活かして隣人、社会、世界に奉仕する力を育てる。	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し <small>※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。</small>

A-4. 教育課程の編成・実施方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	教育課程の編成・実施方針は、A-2「めざす学生像」、「学位授与方針」、A-5「学生の受け入れ方針」と整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	教育課程の編成・実施方針は、A-3「教育研究目標」の達成に向けて相応しい内容となっているか、表現は適切か。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	教育課程の編成・実施方針は、教育課程の編成や、教育内容、教育方法等に関する考え方を明確に示しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学位授与方針の内容を実現するために、教育課程の編成・実施方針は適切な内容となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認5】	教育課程の編成・実施方針は周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	教授会(議長:学長)
	検証手続き	教務委員会、学長室会、教育課程基本方針策定委員会での審議を経て、教授会において決裁・承認している。
	決定・判断時期	毎年7月
	検証エビデンス	教務委員会、学長室会、教育課程基本方針策定委員会の議事録 「教育課程の編成・実施方針」は、2011年度第16回教授会(2012年2月8日)承認。2012年4月1日施行。
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2016年10月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)	
検証プロセス	検証方法	成果指標(幼稚園教諭免許・保育士資格取得率)を定めて現状を把握の上、教務委員会において課題を整理している。
	検証結果	<input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。
		<input type="checkbox"/> 既に見直した(→A票の内容を書き換えた。) <input type="checkbox"/> 今後見直す予定である。(見直し計画:) <input type="checkbox"/> その他 ()
	判断根拠	免許・資格取得状況
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (要覧)	

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート
～検証状況の確認～

提出日:2017年2月23日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-5	学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー;AP)	変更の有無
	1. 本学の教育理念を理解し、尊重する人 2. 保育に関する専門的知識と実践力を身につけるために自ら意欲的に学び、キリスト教精神に基づく豊かな人間性を養うことに努力をする人 3. 世界の子どもの幸せのために貢献する意欲をもつ人	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し <small>※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。</small>

A-5. 学生の受け入れ方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	学生の受け入れ方針は、A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」と整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	学生の受け入れ方針は、理念・目的、教育研究目標を踏まえ、入学時に求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	学生の受け入れ方針と、実際の学生募集方法、入学者選抜の実施方法は整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学生の受け入れ方針は、周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	教授会(議長:学長)
	検証手続き	入試・広報委員会、学長室会での協議を経て、教授会において決裁・承認している。
	決定・判断時期	毎年2月
	検証エビデンス	入試・広報委員会、学長室会、教授会議事録 「学生受け入れの方針」は、2011年度第16回教授会(2012年2月8日)承認。2012年4月1日施行。
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2016年10月) <input type="checkbox"/>2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)
検証プロセス	検証方法	成果指標:(オープンキャンパスや各種入試説明会参加者数、志願者数などの入試実施状況)を定めて現状を把握の上、入試・広報委員会において課題を整理している。
	検証結果	<input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> <div style="margin-right: 10px;"> <input type="checkbox"/> 既に見直した(→A票の内容を書き換えた。) </div> <div style="margin-right: 10px;"> <input type="checkbox"/> 今後見直す予定である。 (見直し計画:) </div> <div style="margin-right: 10px;"> <input type="checkbox"/> その他 () </div> </div>
	判断根拠	オープンキャンパス、各種入試説明会実施状況、入試結果および分析資料など
周知・公表方法		<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (要覧)

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート
 ～検証状況の確認～

提出日:2017年2月23日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-6

学生支援に関する方針		変更の有無
	聖和短期大学ではキリスト教主義に基づき、「豊かな専門的知識と理解力、確かな実践力を備え、他者、特に幼い者や社会的に弱くされている者への深い愛と共感をもって、隣人・社会・世界に奉仕する人」を養成するために、学生一人一人が充実した学生生活を送ることができるように、学生支援の方針を掲げ、関係部署が連携し、修学・生活・進路について支援をする。	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し <small>※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。</small>
修学支援	① 学生の学習上の悩み等について適切な指導助言を行う体制として、「アドバイザー制度」を設け、1年生は6クラス、2年生は8クラスに分け、各クラスにつき教員1名がアドバイザーを務め、修学支援する。 ② 学生同士がコミュニケーションをとりながら、学修できる環境を整える。たとえば、実習科目等では、1年生が2年生の実習経験を聴く時間を設け、学生の主体的な学習の場を整備し支援する。 ③ 基礎学力・基礎技能が不足する学生への対応として、入学前教育や実習の個別指導、ピアノの個別指導などを行う。 ④ 教授会において、学期ごとに成績報告会を開催し、学生一人一人の単位取得状況を確認し、教員全員が学生の情報を共有し修学支援の体制を整える。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し <small>※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。</small>
生活支援	① 学生の生活支援のための組織として学生委員会がある。学生主任を長とし、数名の教員、職員で構成し、教員、職員との連携・協力のもと支援体制を整え、適切に対応する。 ② 各学年、アドバイザー制(クラス担任制)をとり、各アドバイザー担当教員が学生生活全般にわたり、きめ細かい支援をする。 ③ 学生の健康管理、メンタルヘルスケアやカウンセリングの体制として、「保健館分室」と「総合支援センター分室学生支援相談室」に専門スタッフを配置し支援をする。 ④ 「聖和短期大学支給奨学金」「上谷潤子奨学金(給付制:第1種・第2種)」「聖和短期大学後援会奨学金(給付制)」などの奨学金制度を整備し、学生の各々の状況に応じ勉学を続けるよう学生の生活を支援する。 ⑤ キャンパスハラスメント等の支援については人権相談担当者を配置し、問題解決のための助言を行い、適切な対策を講じる体制を整える。	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し <small>※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。</small>
進路支援	① 進路支援の体制として、2年生担当教員と聖和キャンパスキャリアセンターとの協働のもと、「就職支援委員会」を設け、進路支援をする。 ② 聖和キャンパスキャリアセンターでは、保育に関する求人情報や採用試験情報等が揃えられ、学生が自由に利用できる環境を整備し、職員は履歴書の添削や面接練習等にも対応する支援体制を整える。 ③ キャリアセンターでは「就職支援プログラム」を各学年共、きめ細やかに支援する体制を整える。 ④ アドバイザーは、1年次に進路や進学についての個人面談、2年次に就職先についての相談、面接練習、履歴書の添削等を個別に行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し <small>※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。</small>

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート
～検証状況の確認～

提出日：2017年2月23日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-6. 学生支援に関する方針について、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	学生支援の方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、理念・目的、入学者の傾向等の特性を踏まえた内容になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組みや体制を整備し、適切に運用しているか。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> (下記のことが明らかであることに留意する。) <修学支援> ・留年者及び休・退学者の状況把握と対処 ・学生の能力に応じた補習・補充教育の実施 ・障がい学生に対する修学支援の実施 ・奨学金等の経済的支援の実施 <生活支援> ・学生相談室等、学生の相談に応じる体制の整備、学生への案内 ・各種ハラスメント防止に向けた取り組み </div>	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	学生の進路支援は、入学者の傾向等の特性を踏まえながら、進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施の点から取り組んでいるか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学生支援に関する方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、教職員で共有されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	教授会(議長:学長)
	検証手続き	学生委員会、学長室会での協議を経て、教授会において決裁・承認している。
	決定・判断時期	毎年1月
	検証エビデンス	学生委員会、学長室会、教授会議事録 「学生支援に関する方針」は、2015年度第8回教授会(2015年10月14日開催)承認。2016年4月1日施行。
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2016年10月) <input type="checkbox"/>2. 検証を行っていない。→(予定: 年 月)
検証プロセス	検証方法	成果指標:(アドバイザーアワー実施状況、奨学金支給状況、就職支援プログラム実施状況、進路決定状況など)を定めて現状を把握の上、学生委員会において課題を整理している。
	検証結果	<input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> <div style="margin-right: 10px;"> <input type="checkbox"/> 既に見直した(→A票の内容を書き換えた。) <input type="checkbox"/> 今後見直す予定である。(見直し計画:) <input type="checkbox"/> その他 () </div> <div style="margin-right: 10px;"> </div> </div>
	判断根拠	アドバイザーアワー実施状況、奨学金支給状況、就職支援プログラム実施状況、進路決定状況など
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(要覧、就職の手引き)	

2016年度 自己点検・評価【聖和短期大学】

A票

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート
～検証状況の確認～

提出日:2017年2月23日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

A-7

教員像		変更の有無
<p>関西学院は、キリスト教主義に基づく教育を「建学の精神」とし、スクールモットー“Mastery for Service”を体現する創造的かつ有能な世界市民を育むことを使命としている。聖和短期大学は、このミッションステートメントを実現するために求められる教員像を次の通り定める。</p> <p>(教育者として) 保育に関する専門的な知識や技術を教授し、質の高い保育者を養成する能力を有する教員。学生の夢の実現に向けて、よりよい教育に努め、学生の成長を喜びとし情熱を持って取り組む教員。</p> <p>(研究者として) 保育に関する専門性を持ち、研究に誠実かつ熱心に取り組む、広く社会に貢献し、必要とされる教員。</p> <p>(組織の構成員として) 本学の教育や運営のために、自らの優れた知識・能力を生かし、互いに協力し高めあうことによって短期大学全体の充実・発展をめざすことのできる教員。</p> <p>(人として) 学識、識見、人望、人徳を備え、誠実さをもった魅力ある教員。</p>		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し <small>※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。</small>

無しの場合どのように設定するか?	責任主体・組織	
	設定方法	
	設定見込み時期	

教員組織の編制方針		変更の有無
<p>幼稚園教諭、保育士の養成と社会的貢献を果たすために、文部科学省の設置基準および厚生労働省の指定基準に則った専任教員を配置する。特に本学の教育目標に基づき教育課程編成の方針、学位授与方針等を実現するために必要な教員を配置する。</p>		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し <small>※「有り」の場合は「変更点記述シート」を記入のこと。</small>

A-7. 教員像、教員組織の編制方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	教員像は、教員に求める能力・資質、教育に対する姿勢等を明確にしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	教員組織の編制方針は、組織的な教育を実施する上において、必要な役割分担や規模(人数)、教員の専門分野やスキル構成、責任体制、を明確にしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	教員像・教員組織の編制方針は教職員で共有されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	教授会(議長:学長)
	検証手続き	学長室会での協議を経て、教授会において決裁・承認している。
	決定・判断時期	毎年4月
	検証エビデンス	学長室会および教授会議事録 「教員像」は、2015年度第8回教授会(2015年10月14日)承認。2016年4月1日施行。
前回の帳票提出後、適切性の検証を行ったか。		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検証を行った(2016年10月) <input type="checkbox"/> 2. 検証を行っていない。(予定: 年 月)
検証プロセス	検証方法	成果指標(授業評価アンケート結果、研究実績および外部資金等による研究費取得状況、社会的活動状況、校務分掌実施状況など)を定めて、学長室会において課題を整理する。
	検証結果	<input checked="" type="checkbox"/> 検証の結果、課題はなく見直す必要がなかった。 <input type="checkbox"/> 検証の結果、課題があり見直す必要があると判断した。 <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 20px;"> <div style="margin-right: 10px;"> <input type="checkbox"/> 既に見直した(→A票の内容を書き換えた。) <input type="checkbox"/> 今後見直す予定である。(見直し計画:) <input type="checkbox"/> その他 () </div> <div style="margin-right: 10px;"> </div> </div>
	判断根拠	授業評価アンケート結果、個人研究費研究計画書および個人研究費経過(成果)報告書、校務分掌報告書など
周知・公表方法		<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他 ()

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート
～検証状況の確認～

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

※評価専門委員会・第三者評価結果 2017年1月16日公示

- ・ 貴学の理念、人材養成目的、ならびに三つのポリシーに基づき、教学マネジメントを適切に実践されていると判断いたします。(A)
- ・ 全体的に論理的に組み立てられ検討された内容で評価できます。
- ・ 個別に見ますと、
 - A-3 確認 2.で「意欲的な内容」とありますが、どのような方法で「意欲的」と判断しますか、その根拠を明らかに示すことが求められます。
 - A-7 研究者として「保育に関する専門性」とありますが、教員の専門分野だけを教授していますか。専門以外の関連領域科目は無いのでしょうか。もし、有ります場合は関連領域にまで研究を広げますように各教員はしていますか。学内体制として組織的に配慮していますか。担当科目毎の研究が実施されています実態を明確にします授業科目ごとの研究一覧表などが期待されます。
- ・ 研究課題には①担当科目に関してしなければならない内容、②担当科目に関してやりたい内容、③ライフワークとしての内容などがありますが、研究一覧表は①に入る内容に該当すると期待されます。(B)
- ・ A-2「学位授与方針」の項目では、学位授与の要件(必要単位数等)についても記載することが期待されます。
- ・ A-5 入学試験ごとのアドミッションポリシーの作成が期待されます。
- ・ A-7 ミッションステートメントとそれぞれの教員像との関係をより明確化することが期待されます。(C)
- ・ 学位授与方針に基づく学習成果の評価指標の開発が望まれます。(D)
- ・ 方針等はすべて公表・周知されている点は大変評価できます。
- ・ 学生・教職員への十分な理解と、教育・研究に実効的に活かされるよう期待します。(F)
- ・ A-1 の【確認5】について、「いいえ」となっています。(H)
- ・ A-2 についてDPの3. では、「社会的弱者」、Web サイトでは「社会的に弱くされた者たち」と異なる表現になっています。(J)
- ・ 学位授与方針に基づく学習成果の測定のための評価指標の開発およびその測定についての検討が行われ、DPIに反映されることが期待されます。
- ・ いわゆる 3 つのポリシーについて、先般の中央教育審議会から出されたガイドラインに示されたポイント等を参考に、書かれるべき内容が盛り込まれているか再度確認することが望まれます。(K)

2016年度 自己点検・評価【聖和短期大学】

A票変更点
記述シート

<A票変更点記述シート>

提出日:2017年2月23日

責任者	聖和短期大学長	作成部局	聖和短期大学
-----	---------	------	--------

【A票変更点記入欄】

項目名	A-2 聖和短期大学の人材養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)
変更内容とその理由	<p><変更内容> 以下の文章を既存の文章の末尾に追記する。</p> <p>2 本短期大学に設置する学科の人材養成に関する目的その他教育研究上の目的は次のとおりとする。 保育科は、キリスト教主義に基づく豊かな人間性、保育に関する専門的知識と実践力を備え、子どもの最善の利益に貢献できる保育者を養成することを目的とする。</p> <p><変更理由> 2016年度より、学則が変更(第1条2項が追加)されたため。</p>
項目名	A-6 学生支援に関する方針 修学支援
変更内容とその理由	<p><変更内容> ①学生の学習上の悩み等について適切な指導を行う体制として、「アドバイザー制度」を設け、1年生、2年生共12クラスに分け、各クラスにつき教員1名がアドバイザーを務め、修学支援する。 ②③は変更なし ④教授会において、学期ごとに成績報告会を開催し、各教員のアドバイザークラスの学生の単位修得状況を確認し、教員間においては学生の情報を共有し、修学支援体制を整える。</p> <p><変更理由> ①学長を除く全教員が、各学年のアドバイザーとなり、アドバイザークラスが、1年生、2年生共12クラスとなったため。 ④アドバイザーは、担当する学生の単位修得状況を把握し、その後、教員間で学生についての情報交換を行うため。</p>
項目名	A-6 学生支援に関する方針 進路支援
変更内容とその理由	<p><変更内容> ①進路支援の体制として、「就職支援委員会」を設け、聖和キャンパスキャリアセンターとの協働のもと、進路支援をする。 ②③④は変更なし</p> <p><変更理由> 従来「就職委員会」は、2年生のアドバイザー8名と聖和キャンパス事務室キャンパス担当課長、キャリアセンター職員とで構成されていたが、2年生のアドバイザーが12名となり、下記のように構成メンバーが変更されたため。 構成メンバー(計7名): 聖和キャンパス事務室キャンパス担当課長、キャリアセンター職員1名、聖和キャンパス事務室学生委員担当2名、聖和短期大学学生主任と委員2名。</p>

<評価専門委員会・第三者評価結果記入欄>

- ・ 全教員がアドバイザーを担当し、学生の学習上の悩みなどに対応するなど、学生に対してきめ細やかや支援体制を充実されていることはたいへん評価できます。(A)
- ・ 変更の理由、承知いたしました。(D)
- ・ 適切に方針が修正されており、評価できます。(H)
- ・ 検討され適切に変更されています。(J)
- ・ A-6 学生支援に関する方針(修学支援)について、学長を除く全教員がアドバイザーとなり、より充実した修学支援体制とされたことは評価できます。(K)